北海道倶楽部
毎月１回１日発行 定価８０円
公益社団法人北海道倶楽部
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-17-17 北海道東京事務所1 階
TEL 03-3581-4021 FAX 03-3581-4022
E-mail hkkd-clb@soleil.ocn.ne.jp
http://www.hokkaido-c.or.jp/

We Love Hokkaido 北海道 "NOW" KITAKARA

北海道情報紙 知らないこと いっぱい！！

HOKKAIDO CLUB SINCE 1927

盛大に新年交礼会 倶楽部

大久保理事長「100周年寄付に協力を」

北海道倶楽部の新年交礼会が1月30日夜、東京・千代田区のホテルニューオータニで開かれた。あいさつに立った大久保尚武理事長は「倶楽部は来年創設100周年を迎える。寄付を募るので協力を」などと呼びかけた。



新年交礼会には会員を中心に約70人が参加。川村隆会長は体調を考慮して欠席したが、会員増などを訴えるビデオメッセージを寄せた。

大久保理事長は「内外とも激動の中で年が明けた。世界情勢が荒れる中で、日本は総選挙が行われる。今後どうなるのか」と強調した。

＝写真上。2027年の100周年事業について「今、記念事業として何をやるのか、（評議員会などで）検討している」と述べた。

また、大久保理事長は「北海道ふるさと会連合会」との一層の連携強化も求めた。

この後、祝宴に。倶楽部理事らが壇上に上がり鈴木秀一副理事長の発声で乾杯＝写真下。会場には同ホテル自慢の料理や、道産ワインなどが用意され、参加者は舌鼓を打った。

久しぶりの再会に、各テーブルでは談笑の輪ができ、会員らは「北海道応援のために、新たな気持ちで頑張りたい」と話しながら交流を深めた。

閉会後はお土産として名寄産の餅が手渡された。



雪まつり華やかに



道都の冬を彩る「第76回さっぽろ雪まつり」が2月4日～11日、札幌・中央区の大通公園など3会場で開かれた。国内外からの観光客がどっと訪れ、雪と氷の芸術を楽しんだ。（関連記事5面）

メイン会場の大通公園では馬産地・北海道にちなんだサラブレッド（5丁目）＝写真、**北海道新聞社提供**＝や、創基150周年を迎える北海道大学の古河講堂（7丁目）をモチーフにした大雪像も。131基の中小雪像も入場者を温かく出迎えた。

東京から初めて訪れた会社員は「大雪像の迫力がすごい。写真をたくさん撮って、北海道のグルメも楽しみたい」と感激した様子。訪日客の姿も目立ち、大雪像の前では歓声が上がった。

期間中、すすきの会場では氷像60基を展示、つどーむ会場では氷の滑り台やチューブスライダーなど体験型アトラクションが人気を集めた。

高市旋風北海道でも 道選挙区で自民11勝1敗

比例も4議席確保

2月8日投開票された衆院選は、北海道選挙区（1～12区）でも高市早苗旋風が吹き荒れ、自民党が11勝1敗と圧勝した。比例（定数8）でも4議席を確保、高市人気を裏付けた。

これに対して、立憲民主党と公明党が合流、結成した中道改革連合は低迷、選挙区での当選は10区の1議席にとどまり、かろうじて比例北海道ブロックで3議席を確保した。8区では立憲の重鎮だった逢坂誠二氏が落選した。

2024年選挙では、道選挙区は自民党の3勝9敗と敗北。高市フィーバーは元来革新色が強いとされる北海道をも包みこんだ。

3月11日に倶楽部総会

北海道倶楽部の令和7年度（2025年度）定時会員総会は、3月11日午前10時半から東京・永田町の星陵会館（倶楽部事務局が入るほか、役員改選期に当たるため、理事、監事の選任を行う。

かれる。

総会では令和8年度（2026年度）の事業計画、収支予算書などが報告されるほか、役員改選期にあたるため、理事、監事の選任を行う。

北方領土返還運動全国大会開く 「北方墓参の早期再開を」



「北方領土の日」の2月7日、令和8年北方領土返還要求全国大会が東京・代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで開かれた。大会では「日露両国の関係改善と、平和条約締結に向けた交渉の再開」などを求める大会アピールを満場一致で採択した。

北海道倶楽部はキャンペーンの一環として北方四島返還を訴え続けており、北方領土返還要求運動連絡協議会の構成団体になっている。倶楽部からは4人が参加した。

大会には高市早苗首相も出席。あいさつで「日露関係は依然厳しい状態が続いているが、領土返還に向け粘り強く取り組んでいきたい。とりわけ人道問題の北方墓参の早期再開の実現を、急ぎたい」などと述べた＝写真。

また、各界の代表や元島民らが返還に向け決意表明。このうち根室の高校生は「ロシアと共存できる、真の平和を求めたい」と力を込めた。

この後、大会は①北方墓参の一刻も早い再開②四島交流事業の再開③北方四島の返還は、日ロ両国の真の友好関係を築き世界平和にも寄与ーなどを内容とする、令和8年大会アピールを採択した。

式典前には「北方領土返還運動の現状と今後の役割」をテーマにパネルディスカッションも行われ、出席者が厳しい日ロ関係などを巡り意見を交わした。

知事エッセー ～根室管内で～



北海道知事の鈴木直道です。今回は、根室管内羅臼町で、羅臼昆布漁師のご夫妻が営む1日1組限定の貸切宿「seaside cottage KOBUSTAY（コブステイ）」への訪問について紹介します。

こちらの施設では、ご夫妻から旬の魚などとともに天然羅臼昆布の極上出汁が提供され、自炊で食事を楽しむことができ、また、昆布の天日干しや鮮魚市場見学など羅臼ならではの体験ができます。私は昆布の赤葉部分を切り落とすヒレ刈りを体験しました。最高級品とも言われる羅臼昆布が、一枚一枚手間暇をかけられ高い品質が守られていると、身をもって感じることができました。

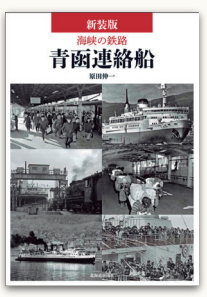
ご夫妻からは、水揚げ量だけに頼らず、漁師自らが付加価値を高め、この素晴らしい昆布を次の世代につないでいきたいとの思いを伺いました。体験を通じて漁業に関心を持つお子さんもいらっしゃるとのことです。生産者と消費者を近づけ、お互いの理解を深める貴重な場所になっていると思いました。



道としましては、日本の食文化を支える昆布をはじめ、本道水産業の多様な魅力を広く発信し、今後も漁師の皆様が安心して漁業を営むことができる環境づくりに取り組んでまいります。

★北海道倶楽部会報は、北海道新聞社から記事、写真の協力を得て、作成しています。

ふるさとの本ご案内 北海道新聞社



新装版 海峡の鉄路
青函連絡船

新装版 海峡の鉄路
青函連絡船
不朽の名作を新装版で！
原田伸一 著
B5判 232頁 定価2640円
津軽海峡を舞台に80年間の航海と、その後に展開された船と人々のドラマを、貴重な写真とともに描いた迫真のドキュメント。船旅の記憶と船員魂はなお生き続ける。



道新プラス
北海道の病院 2026

道新プラス
北海道の病院 2026
北海道新聞社 編
B5判 260頁 定価990円
道民のための病院・クリニックガイドの最新版。患者が主体的に病院、治療法を選ぶための情報が満載。特集は「首の痛みから腰痛まで―脊椎の病気を知る」ほか。

北海道新聞社出版センター 〒060-8711 札幌市中央区大通東4丁目1
TEL 011-210-5744 受付 9：30～17：30（土日・祝日を除く） 価格は税込
出版センターにお電話いただければ直接手配もいたします(代引き・送料別途)
お求めは書店 または インターネットで